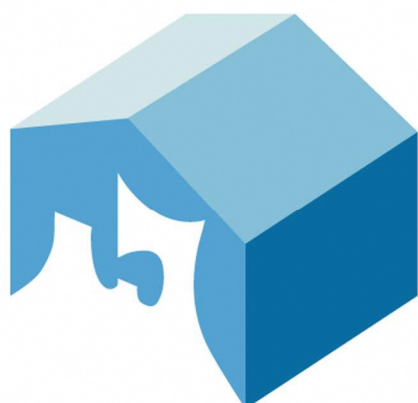


# 青森発の積雪寒冷型住宅最適化プロジェクト

## 申請マニュアル

(令和8年度版)



あおもり  
GX住宅  
ビルダーズ

あおもりGX住宅ビルダーズ

青森県優良住宅協会

一社)新木造住宅技術研究協議会 青森支部

## 目次

補助要件	P3
補助金額	P4
工期要件	P4
交付申請受付期間と申請件数	P4
実績報告の提出期間	P4
補助金交付時期と補助金の取り扱いについて	P5
交付申請額の変更・補助事業の中止	P5
交付申請・実績報告の提出先及び相談窓口	P5
交付申請必要書類	P6
交付申請書類の作成方法	P7～21
実績報告必要書類	P22
実績報告書類の作成方法	P23～28
事業完了後の報告	P29～30

## 補助要件

### あおり GX 住宅(新築 A)

断熱性能等級 6 以上、一次エネルギー消費量削減率 30%以上、気密性能  $0.7 \text{ cm}^3/\text{m}^2$ 以下

### あおり GX 住宅(新築 B)

断熱性能  $U_a$  値 0.35 以下、一次エネルギー消費量削減率 30%以上、気密性能  $0.7 \text{ cm}^3/\text{m}^2$ 以下

### あおり GX 住宅(全体・部分改修)

断熱性能等級 5 以上、一次エネルギー消費量削減率 20%以上、気密性能  $2.0 \text{ cm}^3/\text{m}^2$ 以下

### その他の要件

- ・県産材  $1 \text{ m}^3$ 以上の利用または太陽光発電設備の設置
- ・CASBEE の評価(戸建ての環境効率星 4 つ以上、ライフサイクル CO2 星 3 つ以上)
- ・その他の仕様は、交付別添 4・3 を参照
- ・工事完了入居後 1 年間の温湿度測定データ提供(温湿度測定データ取得に関する機器設置及び管理含む)
- ・工事完了入居後 3 年間の光熱費データ提供同意(電気、ガス、水道、太陽光などの使用量と料金)
- ・構造見学会 or 完成現場見学会開催への同意
- ・設計図書等のデータ提供同意
- ・入居前後の健康調査への協力
- ・あおり GX ビルダーズホームページへの情報提供(イベント情報・デジタルフォトブック)
- ・建売住宅は対象外です。

## 補助金額

あおもり GX 住宅(新築 A) 補助予定額最大 150 万円

あおもり GX 住宅(新築 B) 補助予定額最大 80 万円

あおもり GX 住宅(全体・部分改修) 補助予定額最大 120 万円

下記補助対象工事費の半額を補助

- 断熱等性能等級 4 の仕様からの差額のうち、玄関ドア・断熱施工費の差額
- 気密化工事費
- 一次エネルギー消費量等級 4 の仕様からの差額のうち、換気設備・給湯設備
- 改修の場合は、上記のうち換気設備を除く

## 工期要件

着手： 令和 8 年 4 月 1 日もしくは令和 8 年度予算成立日のいずれか遅い日以降に補助対象工事に着手すること。

完成： 契約書上で令和 9 年 1 月 31 日までに完成すること。

## 交付申請受付期間と申請棟数

新築 A・B は次の 3 期に分けて交付申請を受け付けます。

第 1 期・第 2 期は 1 事業者当たり期ごとに 2 棟まで申請できます。

第 3 期の申請棟数は、第 1・2 期の進捗に合わせ第 3 期募集前に公表します。

第 1 期 4 月 1 日～4 月 30 日(予定)

第 2 期 6 月 1 日～6 月 30 日(予定)

第 3 期 8 月 1 日～9 月 30 日(予定)

改修は次の下記の期間通期にて交付申請を受け付けます。棟数制限はありません。

改修 4 月 1 日～9 月 30 日(予定)

## 実績報告の提出期間

工事完了後 1 か月以内

## 補助金交付時期と補助金の取り扱いについて

補助金は年度ごとの対象物件を、一括して年度末に青森県優良住宅協会へ振り込まれます。その後、各事業者へ振込手数料を除いた金額をお振込みいたします。

補助金交付まで長期間にわたるため、又、実績報告の事業費支払証明書類との整合性を保つため、契約金額全額を建築主は事業者へお支払いいただきます。

補助金交付後は、速やかに建築主へ還元してください。

## 交付申請額の変更・補助事業の中止

各事務局へご一報ください。

## 交付申請・実績報告の提出先及び相談窓口

青森県優良住宅協会

(株)石郷岡 中島 豪

TEL:0172-35-2100 FAX:0172-35-2135

携帯:090-7525-6751

E-mail: gou\_nakajima@ishigoka.jp

一社)新木造住宅技術研究協議会

平野商事(株) 平野 公彦

TEL:0176-23-7111 FAX:0176-23-3967

携帯:090-1495-8076

E-mail: kihirano@hirano-shoji.co.jp

## 交付申請必要書類

- ① 交付別添 2(PDF)
- ② 交付別添 2・3(PDF)
- ③ CASBEE環境効率の評価結果シート(PDF)
- ④ 交付別添 3(PDF)
- ⑤ 交付別添 3・3(PDF)
- ⑥ 交付別添 4-1(PDF)
- ⑦ 交付別添 4・3(PDF)
- ⑧ 補助対象事業費(PDF)
- ⑨ 任意様式 1(PDF)
- ⑩ 任意様式 1-2 (PDF)
- ⑪ 住戸毎の個別明細(PDF)
- ⑫ 住戸毎の完了予定一覧(PDF)
- ⑬ 建築主リスト(PDF)
- ⑭ 建築士免許の写し(PDF)
- ⑮ 見積書の写し(PDF)
- ⑯ 契約書の写し(PDF)
- ⑰ 共同事業実施規約(原本)
- ⑱ 確認済証(PDF)
- ⑲ 確認申請書(第一面から)(PDF)
- ⑳ 確認申請時提出図面(確認済みの押印のあるもの)(PDF)
- ㉑ 仕様書(PDF)
- ㉒ 矩計図(PDF)
- ㉓ 一次エネルギー消費量計算結果(PDF)
- ㉔ 外皮計算書(PDF)
- ㉕ カタログ等性能が確認できる書類の写し(PDF)

※各 PDF ファイルに上記番号をつけ作成したエクセルとともに各事務局にメールにてご提出ください。

● 交付別添 2

別添 2

建築士による建築物の環境効率の評価結果書

当該申請に係る建築物の環境効率の評価結果は次のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

(一級) 建築士 登録 号

建築士の氏名

(CASBEE評価員が作成した場合：登録 号)

※建築士は本内容について責任を持つものとする。不正があった場合は、建築士法にもとづき処分を行う場合があることに留意すること。

1. 建築物の基本事項

プロジェクト名	あおり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト				
建築物の名称					
所在地					
用途 (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> 集合住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 請負戸建住宅	<input type="checkbox"/> 建売戸建住宅	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
構造・工法 (該当するものを「■」)	<input checked="" type="checkbox"/> 木造	<input type="checkbox"/> 鉄骨造	<input type="checkbox"/> R C 造	<input type="checkbox"/> S R C 造	<input type="checkbox"/> その他 ( )
延べ面積・階数	延べ面積	:	m <sup>2</sup>	・ 地上	階 地下 階

(注)「プロジェクト名」欄には、提案申請書様式1に記載してある「プロジェクト名」を記載すること。

2. 申請者等の概要

申請者	氏名又は名称 住所	
建築主	氏名又は名称 住所	
設計者	設計者資格	( ) 建築士 (大臣)登録 号
	設計者氏名	
	事務所登録	( ) 知事登録 号
	建築士事務所名	( ) 建築士事務所
	所在地 電話番号	

契約書が連名の場合、すべての  
建築主を入力してください。

このシートに必要な項目を入力するとそのほかの申請書類に反映されます

● 交付別添 2・3

建築物の名称：

3. 環境効率の適合状況

(1) 評価結果 (CASBEE 戸建-新築 (2016年版・2018年版)の場合)

環境性能	区分	提案時の数値基準	今回の申請結果	適合性の評価
すまいの環境効率 (BEEH)	BEEH ランク	A★★★★	-	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	BEEH 値	2.1	2.1	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
ライフサイクル CO2排出率	CO2 排出率	74 %	74 %	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	ランク	☆☆☆	☆☆☆☆☆	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適

(注)

- 「適合性の評価」欄には、どちらか該当する方に「■」をつける。ただし、提案時の基準値より今回の申請結果が同等、若しくは優れている場合は「●」とする。
- CASBEE 以外のツールを適用する場合、上記の評価結果を参考にし、提出をして下さい。

CASBEE 評価結果より入力  
BEEH の星 4・CO2 排出の星 3 つ  
を確認してください。

# CASBEE - 戸建(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2025年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH\_NC\_2025v1.0

### 1-1 建物概要

建物名称	澤目邸	仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2025年12月 予定		持ち込み家電等	仮
建設地	青森県十和田市大字深持字下中田1の一部		外構の仕様	仮
用途地域	指定なし	確定	<備考>	
省エネルギー地域区分	3地域			
構造・構造階数	木造 1	確定		
敷地面積	479 m <sup>2</sup>	確定	評価の実施日	2025年10月7日
建築面積	138 m <sup>2</sup>	確定	作成者	平野公彦
延床面積	136 m <sup>2</sup>	仮	確認日	
世帯人数	3	仮	確認者	

### 1-2 外観

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BE = 2.0 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L: 35

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

75%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

● CSBEE 入力方法

メインページに必要項目を入力

# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築)

## 評価ソフト

バージョン

CASBEE-DH\_NC\_2025v1.0

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築)2025年版

### 1) 概要入力

#### ① 建物概要

■建物名称	25年戸建住宅	2003/6等と入力して下さい。2003年6月と表示されます。
■竣工年月(予定/竣工)	2026年3月	
■建設地	青森県むつ市	
■用途地区	指定なし	
■省エネルギー地域区分	3	地域
■電力会社等	東北電力(株)	確定
■構造・構法	木造	確定
■階数	2	
■敷地面積	286.37	m <sup>2</sup> 確定
■建築面積	62.93	m <sup>2</sup> 確定
■延床面積	110.95	m <sup>2</sup> 確定
■世帯人数	2	確定

#### ② 仕様等の確定状況

■建物の仕様	確定
■持ち込み家電等	一部確定
■外構の仕様	一部確定
■備考	

#### ③ 評価の実施

■評価の実施日	2025年10月28日	2010/7/29等と入力して下さい。2010年7月29日と表示されます。
■作成者	菊池洋壽	
■確認日		2010/7/29等と入力して下さい。2010年7月29日と表示されます。
■確認者		
■温暖化影響チャートの計算	戸建標準計算	

### 2) 各シートの表示

入力シート	●採点Q1	●採点Q2	●採点Q3
	●採点LR1	●採点LR2	●採点LR3
	●配慮	●CO2独自計算	●建築環境SDGs
計算シート	●スコア	●CO2計算	
評価結果表示シート	第三者による評価結果の確認などを行っている場合は記述する。	●結果(SDGs)	
データベースシート		●CO2データ	●電気排出係数

採点 LR1 のシートに 1 次エネルギー消費量の計算結果から入力

■建物名称 25年戸建住宅

LR<sub>H</sub>1 エネルギーと水を大切に使う

色欄について、プルダウンメニューから選択、または数値・コメントを記入のこと

1 総合的な省エネ

1.1 躯体と設備による省エネ

		重み係数 = 0.45
レベル 5.0	基準	備考
レベル1 ~ レベル5	<p>本採点項目のレベルは、一次エネルギー消費量の削減率(再生可能エネルギーを考慮しない)を1.0~5.0に換算した値(小数第1位まで)で表される。なお、レベル1.0、2.0、3.0、4.0、5.0は以下の一次エネルギー消費量削減率で定義される。</p> <p>レベル1: 一次エネルギー消費量削減率が10%以下                  レベル2: 一次エネルギー消費量削減率が0% (H28年エネルギー消費性能基準相当)                  レベル3: 一次エネルギー消費量削減率が10%                  レベル4: 一次エネルギー消費量削減率が20% (誘導基準相当)                  レベル5: 一次エネルギー消費量削減率が30%以上</p>	一次エネルギー消費量削減率とは、H28年エネルギー消費性能基準における基準一次エネルギー消費量から設計一次エネルギー消費量を減じた値の基準一次エネルギー消費量に対する比率。(ともに家電等のエネルギー消費量を除く)

■評価方法 (LR<sub>H</sub>1.1.2、LR<sub>H</sub>3.1.1、地球温暖化影響チャートにも使用)

■算定プログラムの結果による評価

レベル 5.0

■算定プログラムの結果による評価

※再生可能エネルギーによる削減分(F)を考慮しない

一次エネルギー消費量	MJ/年	家電・調理除く	一次エネルギー消費量削減率※
A. 基準一次エネルギー消費量	107,843	87,269	
B. 設計一次エネルギー消費量(合計:CGSを対象とする場合)	51,140	30,566	65%
C. コージェネ設備の売電量に係る控除量(マイナスの値を入力)	0		
D. その他の設備の一次エネルギー消費量	20,574		
E. 発電量(コージェネレーション)	0		
F. 発電量(太陽光発電)	58,219		
G. 売電量(コージェネレーション)	0		

削減率に基づくスコア換算  
換算スコア = 5.0

一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	家政様邸(戸建住宅)			
(2)入力責任者	家工房一級建築士事務所 上野 真二			
(3)住戸の評価方法	住戸全体を対象に評価する			
(4)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	48.03㎡	43.06㎡	14.91㎡	106.00㎡
(5)地域の区分/年間の日射地域区分	3地域		A3区分(年間の日射量が中程度の地域)	
(6)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次[MJ]	基準一次[MJ]
			17560	41308
			1417	1620
			4404	4007
			19358	27252
			5265	13082
			20574	20574
	発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電(PV)	-17438	--
		コージェネレーション設備(CGS)	--	--
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量 *1		--	--
(7)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		51140	107843
	CGSを対象とする場合		68578	

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

(6)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。

\*1: コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

(2) 発電量・売電量(参考値) \*1

発電量[MJ]		売電量[MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
0	58219	0	40782

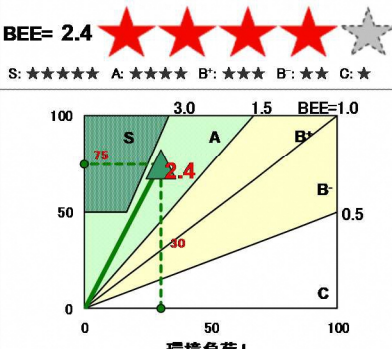

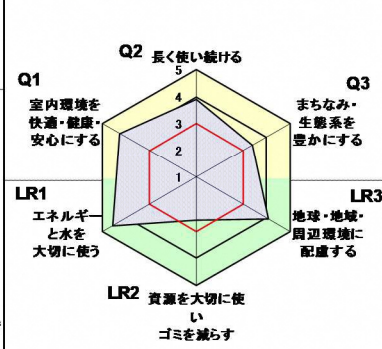
\*1: すべて一次エネルギーに換算した値

結果(2-3レーダー)のシートを確認(交付申請にはこのシートを提出します。)

# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2025年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2025v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	25年戸建住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2026年3月	0.0		持ち込み家電等	一部確定
建設地	青森県むつ市			外構の仕様	一部確定
用途地域	指定なし	0	<備考>		
省エネルギー地域区分	3 地域				
構造・構法	木造	0	評価の実施日	2025年10月28日	
階数	2		作成者	菊池洋壽	
敷地面積	286 m <sup>2</sup>	0	確認日		
建築面積	83 m <sup>2</sup>	0	確認者		
延床面積	111 m <sup>2</sup>	0			
世帯人数	2	0			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE= 2.4 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆ ~0% ★★★★★ ~50% ★★★★★ ~75% ★★★★★ 100% 100%超 ☆</p> <p>戸建標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p>

2-4 中項目の評価(パーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
Q1のスコア= 4.3	Q2のスコア= 3.9	Q3のスコア= 3.4
Q のスコア= 3.9		

2-1 戸建ての環境効率星4つ以上、2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>星3つ以上を確認してください。

星の数が足りない場合補助を受けられません。その際には採点 LR1 以外のシートも訂正してください。



3 設計上の配慮事項		
総合	青森県独自基準「あおりGX住宅」の基準にのっとり環境設計が十分配慮されている	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
青森県独自基準「あおりGX住宅」の推奨基準に適合し、等級6、一次エネルギー削減率が30%以上削減と高い性能を実現している	一定の配慮をしている	一定の配慮をしている
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
住宅の断熱性能のみならず使用されている設備機器にも環境設計が十分配慮されている	一定の配慮をしている	一定の配慮をしている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)  
 ■ CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>Q</sub>、Q<sub>1</sub>、LR<sub>1</sub>などとするべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>2</sub>、LR<sub>1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい

● 交付別添 3

別添 3

建築士による省エネルギー性能の適合確認書

当該申請に係る建築物の設計内容の省エネルギー性能の適合状況は次のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

(一級) 建築士 登録 号

建築士の氏名 0

※建築士は本内容について責任を持つものとする。不正があった場合は、建築士法にもとづき処分を行う場合があることに留意すること。

1. 建築物の基本事項

プロジェクト名	あおもり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト		
建築物の名称			
所在地			
用途 (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> 集合住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 請負戸建住宅	<input type="checkbox"/> 建売戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他 ( )
構造・工法 (該当するものを「■」)	<input checked="" type="checkbox"/> 木造	<input type="checkbox"/> 鉄骨造	<input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> その他 ( )
延べ面積・階数	延べ面積	: 0.00 m <sup>2</sup>	・ 地上 0 階 地下 0 階
他の補助金申請 (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (補助金名: )	<input type="checkbox"/> 国費 <input type="checkbox"/> 国費外

(注)「プロジェクト名」欄には、提案申請書様式1に記載してある「プロジェクト名」を記載すること。

2. 申請者等の概要

申請者	氏名又は名称	0
	住所	0
建築主	氏名又は名称	0
	住所	0
設計者	設計者資格	( ) 級) 建築士 ( ) 登録 号
	設計者氏名	0
	事務所登録	( ) 知事登録 号
	建築士事務所名	0
	所在地	0
	電話番号	0

別添 2 の入力内容が反映されます

● 交付別添 3・3

建築物の名称：

3. 省エネルギー性能の適合状況

省エネルギー措置の項目： 外壁、窓等を通しての熱の損失を防止のための措置

該当する地域区分		【	地域】
省エネルギー性能		地域区分又は基準一次エネルギー消費量又は提案時の数値基準	今回の申請結果 適合性の評価
住宅以外	<input type="checkbox"/> 外皮	外皮計算書より入力 [GJ/(年)]	<input type="checkbox"/> 適
	<input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量		<input type="checkbox"/> 不適
住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	[W/(m <sup>2</sup> ・K)]	0.28
	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率	[ηA]	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量	[GJ/(年)]	
	<input type="checkbox"/> 仕様基準(設計・施工指針)附則	別紙仕様書参照	別紙仕様書参照

一次エネルギー消費量計算結果より入力

一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	澤目様邸新築工事(戸建住宅)			
(2)入力責任者	平野公彦			
(3)住戸の評価方法	住戸全体を対象に評価する			
(4)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	29.81m <sup>2</sup>	60.68m <sup>2</sup>	45.05m <sup>2</sup>	135.54
(5)地域の区分/年間の日射地域区分	3地域			**** *****
(6)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次[MJ]	基準一次[MJ]
	暖房設備		33644	73011
	冷房設備		877	1207
	換気設備		4060	5052
	給湯設備		22975	28652
	照明設備		5010	11606
	その他の設備		21241	21241
	発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電(PV)	--	--
コージェネレーション設備(CGS)		--	--	
コージェネレーション設備の売電量に係る控除量*1		--	--	
(7)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		87807	140768
	CGSを対象とする場合		87807	140768

提案時の数値  
基準以下であれば適

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

0

● 交付別添 4-1

別添 4-1

### 建築士による提案内容への適合確認書

当該申請に係る建築物の設計内容とサステナブル建築物等先導事業（省CO<sub>2</sub>先導型）の提案申請書に記載されている提案内容との適合状況は次のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

(一級) 建築士 登録 号  
建築士の氏名 0

※建築士は本内容について責任を持つものとする。不正があった場合は、建築士法にもとづき処分を行う場合があることに留意すること。

#### 1. 建築物の基本事項

プロジェクト名	あおり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト		
建築物の名称			
所在地			
用途 (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> 集合住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 請負戸建住宅	<input type="checkbox"/> 建売戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他 ( )
構造・工法 (該当するものを「■」)	<input checked="" type="checkbox"/> 木造	<input type="checkbox"/> 鉄骨造	<input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> その他 ( )
延べ面積・階数	延べ面積	: 0.00 m <sup>2</sup> ・ 地上 0 階	地下 0 階
他の補助金申請 (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (補助金名: )	<input type="checkbox"/> 国費 <input type="checkbox"/> 国費外
立地区域の確認 (令和4年度採択以降)	<input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域に該当しない		
立地区域の確認 (令和5年度採択以降)	<input type="checkbox"/> 都市再生特別措置法第88条第3項の規定による勧告に従わなかった旨の公表がされていない		
立地区域の確認 (令和6年度採択以降)	<input type="checkbox"/> 災害危険区域に該当しない		
立地区域の確認 (令和6年度採択以降)	<input type="checkbox"/> 市街化調整区域であって土砂災害警戒区域又は浸水想定区域に該当しない (令和6年度採択の場合のみ、補助金半額とする。)		
構造の安全性 (※1) (令和5年度採択以降)	<input type="checkbox"/> ①構造計算により構造安全性を確認 (300㎡超の場合は必須)		
	<input type="checkbox"/> ②壁量等の基準により構造安全性を確認		
構造の安全性 (※2) (令和7年度採択以降)	<input type="checkbox"/> ①構造計算により構造安全性を確認 (300㎡超の場合は必須)		
	<input type="checkbox"/> ②新壁量等の基準により構造安全性を確認		

(注)「プロジェクト名」欄には、提案申請書様式1に記載してある「プロジェクト名」を記載すること。

(※1) 階数が2以下、かつ、床面積が500㎡以下の木造の場合のみ記入。  
ただし床面積300㎡超の場合は、①により構造の安全性を確認すること。

(※2) 建築基準法の施行（令和7年4月1日）により、木造建築物については、規模により、上記いずれかによる構造安全性の確認を求めます。ただし、建築基準法施行令第43条第1項及び第46条第4項等の経過措置は適用外とする。

#### 2. 申請者等の概要

申請者	氏名又は名称	0
	住所	0
建築主	氏名又は名称	0
	住所	0
設計者	設計者資格	( ) 級) 建築士 ( ) 登録 号
	設計者氏名	0
	事務所登録	( ) 知事登録 号
	建築士事務所名	0
	所在地	0
	電話番号	0

別添 2 の入力内容が反映されず

所管行政庁に確認の上入力ください

構造確認方法を入力してください

別添 2 の入力内容が反映されず

● 交付別添 4・3

建築物の名称：			
3. 先導的な提案内容への適合状況			
提案項目	提案概要	補助金 交付 項目	適合性の 評価
高気密高断熱住宅の建設	【申請する住宅タイプ】 <input type="checkbox"/> 新築A (新築A) ・断熱性能 等級6以上 ・BEI ≤ 0.7	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	<input type="checkbox"/> 新築B (新築B) ・断熱性能 等級5以上 U a 値0.35以下 ・BEI ≤ 0.7	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	<input type="checkbox"/> 全体改修 (全体改修) ・断熱性能 等級5以上 ・BEI ≤ 0.8	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	(新築A) 気密性能0.7㎤/㎡以下 (新築B) 気密性能0.7㎤/㎡以下 (全体改修) 気密性能2.0㎤/㎡以下	○	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適 ■ 実績時
(断熱材の性能強化)	<input type="checkbox"/> 新築A 断熱等級4→等級6以上	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	<input type="checkbox"/> 新築B 断熱等級4→U a 値0.35以下	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	<input type="checkbox"/> 全体改修 断熱等級4→等級5以上	—	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
(換気設備の性能強化)	第一種熱交換換気設備もしくは第三種換気設備 (ACモーター) を 超える性能を持つ換気設備	○	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
(給湯設備の性能強化)	エコキュートJIS 効率3.3 以上、エコジョーズ、エコフィール、 ヒートポンプ・ガス瞬間式併用給湯温水暖房機	○	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
その他 官民プラットフォームによる実施	<input type="checkbox"/> 県産木材 1㎡以上の利用 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備の設置	○	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
	現場見学会開催	○	<input type="checkbox"/> 適 ■ 実績時
	住環境データの取得、モニタリング	○	<input type="checkbox"/> 適 ■ 事業後 実施
普及・波及	今回評価を受けた先導的な提案概要についての ホームページやガイドライン等を活用した情報提供	○	<input type="checkbox"/> 適 ■ 事業後 実施

申請タイプを選択  
適としてください

申請タイプを選択  
適としてください

提案概要を確認し  
適としてください

木材・太陽光どち  
らかを選択し適と  
してください

選択項目はすべて  
○としてください。

(注)  
1. 「提案項目」、「提案概要」欄には、提案申請書様式3及び様式4-1を中心に省CO2の取り組みとして提案している内容を記入すること。欄は適宜追加すること。  
2. 「補助金交付項目」欄には、該当する項目に○をつけること  
3. 「適合性の評価」欄には、どちらか該当する方に■をつけること

● 補助対象事業費

申請タイプに応じたシートをお使いください。

補助対象事業費確認書			
住宅の名称	0	住宅のタイプ	新築A
※金額は全て消費税を除いて下さい。 単位：円			
総請負金額	請負に関する全ての金額の合計（税抜）		
事業費	事業費から除く項目	添付資料No.	金額
	1		a
	2		
事業費合計			0
			0 千円
設計費	設計費事業費		0 千円
	補助対象事業費	補助対象項目	添付資料No.
		1 BELS評価書取得費	
		2	
	①補助対象事業費合計		0
	補助対象外事業費合計		0 千円
補助対象外事業費	(内 他の補助金額 : 千円 )	0 千円	
補助額	① x 1/2	0	
	( 1戸当たり上限額 : 0 千円 )	0 千円	
建設工事費	建設工事費事業費		0 千円
	補助対象事業費	補助対象項目	添付資料No.
		1 断熱材の性能強化	見積書P
		2 玄関ドアの性能強化	見積書P
		3 換気設備の性能強化	見積書P
		4 給湯設備の性能強化	見積書P
		5	
	6		
	②補助対象事業費合計		b
	補助対象外事業費合計		0 千円
補助対象外事業費	(内 他の補助金額 : 千円 )	0 千円	
補助額	② x 1/2	0	
	( 1戸当たり上限額 : 1,500 千円 )	0 千円	
総補助額	( 1戸当たり上限額 : 1,500 千円 )	c	
		0 千円	

請負契約金額（税抜）を入力

設計費・解体費・外構費等を事業費より除きます。

任意様式に 1-2 にて集計した見積書のページを示してください。

任意様式 1-2 より転記されます。

この金額が補助金額となります

● 任意様式 1

【別紙2に掲げる添付資料 任意様式1】

事業費及び補助対象事業費の総額、補助対象事業費の内訳が分かる資料

番号	建築主	建築場所	補助区分	県産木材	太陽光発電	事業費(契約額)	補助対象事業費	補助額	工事完成予定日
				-	-				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

新築 A・B 改修を選択してください。

完成予定日を入力

県産材・太陽光を選択してください。

補助対象事業費のシートより  
 事業費 = ㉑  
 補助対象事業費 = ㉒  
 補助額 = ㉓  
 を入力してください。

● 任意様式 1-2(記入例をご参照ください。)

【別紙2に掲げる添付資料 任意様式1】

補助対象内訳確認書(新築)

(新築基準価格)

断熱等級	項目	部位	仕様	基準価格	合計 ①
4	断熱材の性能強化	天井・屋根			0
		外壁			
		床			
		基礎			
		材熱工事の副資材			
	気密工事				
	玄関ドアの性能強化	玄関ドア			0
	換気設備の性能強化	換気設備			0
	給湯設備の性能強化	給湯設備			0

(補助対象)

断熱等級	項目	部位	仕様	事業費 ②	補助対象事業費 ②-①
6	断熱材の性能強化	天井・屋根			0
		外壁			
		床			
		基礎			
		材熱工事の副資材			
	気密工事				
	玄関ドアの性能強化	一式			0
	換気設備の性能強化	一式			0
	給湯設備の性能強化	一式			0

	補助対象事業費/2	0
	補助額	0

※このシートを作成すると補助対象事業費に反映します。

● 任意様式 1-2 の作成例

上段部分 新基準価格

- ・省エネ基準レベルの仕様を作り、積算します。
- ・仕様部分には、仕様のほか施工面積も明示してください。
- ・材工金額で記入します。
- ・外皮計算書・1次エネルギー計算書・積算根拠の提出は求めませんが、審査の過程で提出する場合があります。

(新築基準価格)					
断熱等級	項目	部位	仕様	基準価格	合計 ①
4	断熱材の性能強化	天井・屋根	高性能GW10Kg 150mm 69㎡ 材工	138,000	726,000
		外壁	高性能GW10Kg 100mm 170㎡ 材工	306,000	
		床	押出法PSF3種bA 40mm 62㎡	217,000	
		基礎	押出法PSF3種bA 20mm 10㎡	35,000	
		材熱工事の副資材			
		気密工事	点検口等 材工	30,000	
	玄関ドアの性能強化	玄関ドア	YKKAP玄関ドア プロント 材工	200,000	200,000
換気設備の性能強化	換気設備	壁付式第3種換気システム 材工	110,000	110,000	
給湯設備の性能強化	給湯設備	ガス給湯器 材工	195,000	195,000	

下段部分 補助対象

- ・見積書より対象工事の仕様・事業費を拾います。
- ・仕様部分には、仕様のほか施工面積も明示してください。外皮計算書の面積から常識的な歩留まり計算より多い面積は認められません。
- ・材工金額で記入します。

(補助対象)					
断熱等級	項目	部位	仕様	基準価格	合計 ①
6	断熱材の性能強化	天井・屋根	グラスウールブローイング400mm 69㎡ 材工	276,000	3,440,000
		外壁	高性能GW16Kg 105mm+付加105mm 170㎡ 木下地含む材工	1,700,000	
		床	基礎断熱につき床断熱無し	0	
		基礎	EPS特号基礎立上60+60mm土間下全面50mm材工	690,000	
		材熱工事の副資材	シート・テープ等 材工	300,000	
		気密工事	シート・テープ・気密用合板・気密点検口等 材工	1,200,000	
	玄関ドアの性能強化	一式	YKKAP玄関ドア ヴェナートD30 材工	400,000	200,000
換気設備の性能強化	一式	第1種熱交換換気システム 材工	500,000	390,000	
給湯設備の性能強化	一式	エコキュート JIS効率3.3 材工	800,000	605,000	

● 住戸毎の個別明細

住戸毎の個別明細 (別紙2の添付資料) 単位: 千円

No.	住宅の名称	建築設計費			建築工事費			他の補助金申請額	備考
		事業費	補助対象事業費	補助金申請額	事業費	補助対象事業費	補助金申請額		
1	0								
2									
3									
4									
5									

補助対象事業費より転記してください。

● 住戸毎の完了予定一覧

住戸毎の完了予定一覧表

プロジェクト名 あおもり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト

代表提案者名 \_\_\_\_\_

担 当 \_\_\_\_\_

工事管理責任者氏名と補助の対象となる工事の着手・完了の予定日を入力します。

No.	住宅の名称	物件の所在地	階数	延べ面積 (㎡)	工事管理責任者の氏名	補助対象項目の着手予定日	補助対象項目の完了予定日	交付決定日
1	0		0	0.00				

● 建築主リスト

建築設計費				建設工事費				事業者名	建築主	建築主のフリガナ
事業費 (千円)	補助対象事業費 (千円)	補助額 (千円)		事業費 (千円)	補助対象事業費 (千円)	補助額 (千円)				
		交付額	実績額			交付額	実績額			
400	400	200	200	30,000	4,000	1,800	1,700	〇〇工務店(株)	環境 共生	カンキョウトモ
400	400	200	200	40,000	3,000	1,500	1,470	(株)〇〇建設	建売A棟住宅	半角

姓名の間は1文字あける

補助対象事業費より転記してください。

事業者名・施主・所在地を入力してください。

郵便番号	所在地			備考	一次エネルギー消費性能 (BEI)	UA [W/㎡・K]	η Ac
	住所1 都道府県	住所2 市区町村	住所3 ※住居表示を記入してください。				
102-0071	東京都	千代田区	富士見2-7-2	建売で売買済の場合 申請時の建物名称を記入してください	0.58	0.46	1.3
			・数字は半角 ・丁-番地-号の間はハイフンを用いて記載				

1次エネルギー消費量計算結果より転記してください。



- 建築士免許の写し
- 見積書の写し

#### 見積作成にあたっての注意点

- ・補助対象事業費にマーカー・アンダーライン等わかりやすく表示してください。
- ・上記マーカーしたページ No.を「補助対象事業費」のシート添付資料 No.「見積書P」に入力してください。
- ・大工工事等施工費は、一式ではなく各補助対象事業費別に分けて表示してください。
- ・外皮計算書の面積から常識的な歩留まり計算より多い断熱材は認められません。
- ・値引き等端数調整費は1式ではなく現場諸経費のなかで行ってください。1式の値引きを行った場合、補助対象事業費にも案分され補助対象事業費が減額されます。

- 契約書の写し
- 共同事業実施規約

#### 2 ページ目の署名押印例

甲： 住所 氏名	施主全員の署名押印	
あおり GX 住宅ビルダーズ 乙：青森市長島一丁目1番1号 青森県知事 宮下 宗一郎		
丙：青森県弘前市神田2丁目3-12 青森県優良住宅協会 会長 高橋 秀夫		
丁：青森県十和田市元町東三丁目6-1 一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会 理事 平野 公彦		
戊：所属団体：	優良住宅協会・新住協どちらかの団体名	
	工務店の署名押印	

※作成日は未記入、原本を事務局に送付ください。

- 確認済証
- 確認申請書(第一面～六面)
- 確認申請時提出図面(確認済みの押印のあるもの)
- 仕様書(断熱材の性能強化、玄関ドアの性能強化、換気設備の性能強化、給湯設備の性能強化の記載内容が確認できるもの)
- 矩計図(断熱仕様が分かるもの)
- 一次エネルギー消費量計算結果
- 外皮計算書

注意！現行の基礎断熱評価方法は令和8年10月31日にて終了します。今事業での運営方針が未定のため、完成が11月1日以降の物件は、新しい評価方法で計算してください。

- カタログ等性能が確認できる書類の写し(断熱材の性能強化、玄関ドアの性能強化、換気設備の性能強化、給湯設備の性能強化に関する箇所のみ)

## 実績報告必要書類

- ②6 実績別添 3-1 (PDF)
- ②7 実績別添 3-1.3 (PDF)
- ②8 実績完成写真 (PDF)
- ②9 検査済み証
- ③0 建材納品書
- ③1 実績工事写真 (PDF)
- ③2 BELS 評価書 (PDF)
- ③3 事業費支払証明書類 (PDF)
- ③4 気密性能試験結果 (PDF)
- ③5 請求書 (PDF)
- ③6 変更契約書 (内訳明細付き) (PDF) ※変更のある場合
- ④7 計画変更・軽微変更関係書類 (PDF) ※変更のある場合

※各 PDF ファイルに上記番号をつけ作成したエクセルとともに各事務局にメールにてご提出ください。



● 実績別添3-1.3

確認申請上、計画変更・軽微変更の場合は関連資料を添付してください。

建築物の名称：

3. 計画の変更等 及び 提案内容への適合状況

(1) 交付申請時からの設計変更の有無	無
(2) 交付申請書に記載した環境効率の評価結果、省エネルギー基準、及び先導的な提案内容に関する変更の有無	無

(注)  
 少なくとも、建築基準法第6条第1項に定める「建築物の計画変更の内容」及び完了検査申請書「確認以降の軽微な変更の概要」欄に記載した事項がある場合は、(1)については「有」とすること。

上記(2)で「有」を選択した場合、次の内容を記載すること。

関連する提案内容	変更の概要	当該変更の内容が提案内容への適合状況に影響を与えないと判断した理由

変更内容を明記してください。

Ua 値・BEI・CASBEE の星に変更があれば有としてください。

(注)  
 「関連する提案内容」欄には、環境効率の評価結果、省エネルギー基準、及び先導的な提案内容の別を記載し、先導的な提案内容については、提案申請書に記載した内容のうち該当するものを記載すること。欄は適宜追加すること。

● 実績完成写真

建築物の名称：

完成写真

写真番号	工事名称	撮影日
1	完成(外観)	
写真番号	工事名称	撮影日
2	完成(内観)	

建築物の名称：

## 完成写真

写真番号	工事名称	撮影日
3	省エネルギー性能の表示	
<p>完成した物件にはBELSプレートを掲示しなければなりません。</p> <p>掲示した状況の写真を添付してください</p>		
写真番号	工事名称	撮影日
4	展示会風景	
<p>採択には展示会の開催が必要となります。</p> <p>展示会の状況の写真を添付してください</p>		

## BELS プレート



- 完了検査済証
- 補助対象事業費に計上した建材・設備機器等の出荷証明書もしくは納品書
  - ※青森県産材使用の場合、青森県産材認証制度に基づく証明書
  - ※太陽光利用の場合は太陽光発電設備の出荷証明書もしくは納品書
- 工事写真

※補助対象事業費に計上した断熱材・気密材の施工状況

※補助対象事業費に計上した設備機器の設置状況及び銘板

建築物の名称：

**工 事 写 真**

写真番号	工事名称	撮影日
1		
<div style="background-color: #005680; color: white; padding: 20px; border: 1px solid black;"> <p style="margin: 0;">断熱材等の設置状況等</p> <p style="margin: 0;">設備機器の場合は設置状況と銘板</p> </div>		
2		
3		

- BELS 評価書(評価機関の押印のある関連資料すべて)
- 事業費支払証明書類

以下の(1)に掲げるものから2点、もしくは(1)及び(2)に掲げるものからそれぞれ1点を提出

(1) 受領の証明書

- ・施工会社が建築主に発行した領収書の写し
- ・建築主からの入金を確認できる施工会社の通帳(口座情報が確認できること)の写し

※通帳の表紙および入金部分の明細(当該以外の取引は黒塗り)

※インターネットバンキングの入出金明細照会でも可

(2) 送金の証明書類

- ・建築主が施工会社に送金した際の振込受付書
- ・建築主が施工会社に送金した際の振込明細書
- ・施工会社への送金を確認できるの建築主の通帳(口座情報が確認できること)の写し

※通帳の表紙および入金部分の明細(当該以外の取引は黒塗り)

※インターネットバンキングの入出金明細照会でも可

- 気密性能試験結果
- 交付申請時より工事費に変動があった場合、変更契約書(内訳明細付き)の写し
- 請求書

※実績報告提出時点で補助額が確定していない場合は請求額を空欄としてください。

- 計画変更・軽微変更関係書類

※確認申請に計画変更・軽微変更があった場合、提出してください。

# 事業完了後の報告

## ● 温度・湿度データの報告

※詳細は「あおもり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト 温湿度測定概要」参照

あおもり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト 温湿度測定概要

サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)

2026/2

普及活動

あおもりGX住宅ビルダーズ

### ○実施内容

- |                         |                                       |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ①温湿度データ提供               | : 建築主                                 |
| ②温湿度測定データ取得に関する機器設置及び管理 | : 施工者                                 |
| ③データとりまとめ(毎月)           | : 事務局(青森県優良住宅協会、(一社)新木造住宅技術研究協議会青森支部) |
| ④データ検証                  | : あおもりGX住宅ビルダーズ(事務局:青森県)              |

### ○測定内容

温度、露天温度、相対湿度、絶対湿度、VPD(全て15分単位でデータをエクスポートする)

### ○測定期間

1年間(移転した翌年度の4月から、翌年3月末まで、施工者は毎月各協会へデータを報告する)

### ○測定機器

- |     |   |
|-----|---|
| ①室内 | ・SwitchBot温湿度プラス(本体に68日間データ保存及びエクスポート可能)または、<br>・SwitchBot温湿度(本体に36日間データ保存及びエクスポート可能) |
| ②屋外 | ・SwitchBot防水温湿度計(本体に68日間データ保存及びエクスポート可能)  |



SwitchBot温湿度計プラス

### ○測定箇所

設置後、写真を事務局へ提出してください。

(窓台の上など、日射が当たる場所は不可設置高さ:床上1200mm程度(800mm~1600mm))

- |                |
|----------------|
| ①室内 4か所        |
| ・居間            |
| ・主寝室           |
| ・2階子供寝室または2階居室 |
| ・脱衣所           |
| ②屋外 1か所        |



設置NG例(日射により影響大)

### ○SwitchBotの注意点

- ・建築主からの測定データの回収は自由。下記に例を示す。
  - ①建築主がデータをエクスポートし、施工者に月1で提供
  - ②建築主を訪問し、施工者がデータをエクスポートにより取得
  - ③SwitchBot温湿度計プラスをSwitchBotハブ2に変更し、建築主または施工者がデータを取得(通信環境必要・遠隔取得可能)
  - ④ミニハブを追加し、建築主または施工者がデータを取得(通信環境必要・遠隔取得可能)
- ・電池の消耗など初期不良が多いので、初期不良交換または電池交換スケジュール(2か月毎)を決めた方がよい
- ・各室に配置する前に同じ部屋に1時間ほど並べ、温度、湿度が共通になるように補正をする(設定→校正→温度補正または湿度補正)

### ○その他

- ・4日以上連続で失敗した場合は翌年同月再度取得すること(未実施は補助金返還措置になります)

事務局へ提出するデータには「邸名・室名・測定期間」を明記してください。

